

新総合計画策定の進め方について

1 基本的な考え方

- ▶ 今後の社会情勢を的確に捉え、具体的な「ビジョン」として府民に示す。
- ▶ 現行計画の策定以降、京都府を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、当時の想定を超える新たな課題（出生数の減少、有効求人倍率の上昇等）も山積している。
- ▶ これらを踏まえ、現行の「明日の京都」を時点修正するというよりは、新たな計画をつくりあげるという考えで、夢のある計画を府民に示す。

2 計画策定に向けた「懇話会」「部会」の設置

- ▶ 懇話会に3つの部会を設け、個別テーマでの議論を展開し懇話会で集約する

新総合計画策定懇話会

生活部会（医療、福祉、地域づくり、人権 等）

経済部会（商工、観光、農林水産業、労働 等）

文教部会（伝統文化、スポーツ、環境、教育 等）

3 府民等からの意見集約の手法（5つの手法）

手法① 新総合計画 府民意見交換会	5回開催予定(京都市内、山城、南丹、中丹、丹後)
手法② 行き活きトーク等	毎月1回開催予定(府民意見交換会併催の位置付け)
手法③ スマートフォン等による意見募集	意見提出用フォーム、メール等で随時募集
手法④ パブリックコメント	中間案について府民からの意見を募集
手法⑤ 市町村との意見交換会	市町村長からの意見を反映

4 策定スケジュール (粗いイメージ)

年月	懇話会	部 会	府民意見聴取	議会对応等
H30. 8	第1回懇話会	} 3～5回 開催	} 5カ所開催	
9	第2回懇話会			
10				
11				
12				
H31. 1	} 第3回懇話会			
2				
3				
4				
5	第●回懇話会			【6定】中間案報告
6				
7				
8	第●回懇話会			
9				【9定】最終案提案